

◎景気ウォッチャー調査[2022年5月]

2022年5月の中国地域調査結果の概況

■景気の現状に対する評価

現在の景気を3か月前と比較するとその評価は次のとおりであった。

景気の現状判断D I (合計)は、前月を3.5ポイント上回る52.4となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「県民割を活用した旅行会社の商品などが好調である。」(高級レストラン)、「ワクチン接種により、休日の人の動きがやや活発になり、消費が動く傾向にある。」(スーパー)等の理由から、「良くなっている」、「やや良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を4.6ポイント上回る54.4となった。

企業動向関連は、「やや悪くなっている」、「悪くなっている」の回答の割合が減少し、「良くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を2.8ポイント上回る43.4となった。

雇用関連は、「やや良くなっている」の回答の割合が減少し、「求職者からの就職相談件数が減少している。」(人材派遣会社)、「ゴールデンウィーク以降、物価上昇や海外情勢の影響で、消費の動きが鈍くなっている。広告出稿状況からも、地域の企業が明らかに守りに入っていることがうかがえる。」(新聞社)等の理由から、「やや悪くなっている」の回答の割合が増加したため、前月を1.6ポイント下回る57.8となった。

	5月	4月	前月差
合計	52.4	48.9	3.5
家計動向関連	54.4	49.8	4.6
企業動向関連	43.4	40.6	2.8
雇用関連(参考値)	57.8	59.4	-1.6

■景気の先行きに対する評価

現在より3か月先の景気の先行きに対する評価は次のとおりであった。

景気の先行き判断D I (合計)は、前月を4.8ポイント上回る52.4となった。

分野別にみると、家計動向関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、客がストレス解消のため買物やレジャーに向かうので、景気はやや良くなる。」(商店街)、「旅行需要が確実に回復し始め、海外旅行の販売も再開されつつあり、今後、政府の施策実施が確定すれば、更なる売上の回復が見込まれる。」(旅行代理店)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を4.8ポイント上回る52.9となった。

企業動向関連は、「やや悪くなる」、「悪くなる」の回答の割合が減少し、「新型コロナウイルスによる制限が緩和され、夏季のイベントが増えてくれば、客の消費行動も改善する。」(繊維工業)、「上海のロックダウンが解除され、半導体需要を満たせば景気が上向く可能性がある。」(輸送業)等の理由から、「やや良くなる」の回答の割合が増加したため、前月を8.0ポイント上回る47.8となった。

雇用関連は、前月と同ポイントの59.4となった。

	5月	4月	前月差
合計	52.4	47.6	4.8
家計動向関連	52.9	48.1	4.8
企業動向関連	47.8	39.8	8.0
雇用関連(参考値)	59.4	59.4	0.0